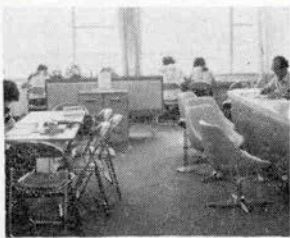


ポケットジャーナル



★神戸市余暇情報センター オープン

週末二日制の会社が増え、自分で自由になる時間が多くなってきた。「ハイキングに行きたいが適当なコースは?」「文化講座、展覧会がどこかで開かれているのでは?」「スポーツをしたいが適当な場所は?」等



余暇情報センター（神戸国際会館内）

いろいろな余暇活動の情報を提供し、相談に応ずる神戸市余暇情報センターが七月一日から神戸国際会館四階「三宮青少年ホール」内にオープンした。

これは今年の四月から新しく設けられた市の余暇開

発課が設置したもので、おにも神戸市内の余暇活動の情報を電話で知らせること

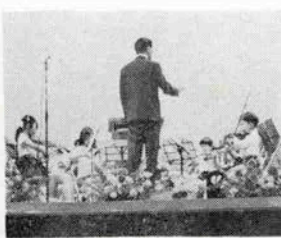
になっていく。オープンして以来、毎日二、三十件の問い合わせがあり、県外からの問い合わせもあるとか。センターには余暇のための、図書や参考資料もそろえてあるのでお気軽にどうぞ。毎日十二時から八時まで。水曜日は休み。
TEL二五一八四六一

★チビッコ合奏団 神戸にお目見え

少年少女による合奏団が神戸市にはじめて誕生した。神戸市少年少女合奏団（小杉博英会長、潮崎満理事長）がそれで、この四月に結成されてから諏訪山小学校の市民音楽教室で練習を続けていたが、さる六月二十四日（日）午後二時から兵庫県民小劇場で結成記念演奏会を開いた。

当日の会場には、お母さんにつれられたチビッコたちがどっとおしよせ、壇上

で日頃の練習の成果を披露する少年少女にさかんに拍手を送っていた。また、代表クイーンの芝田由美さんから花束を贈られ大いに照れる一幕もあり、なごやかな雰囲気であった。
文化都市神戸の若きシンボルとしてスクスクと育って欲しいものである。



「日の丸変奏曲」を熱演するメンバーたち

★ユツクリ走ろう赤トンボ

赤トンボ号と名づけられた一台の赤い自転車、交通事故がなくならないととの悲願をこめ、交通遺児たちによって乗り継がれ日本を一周している。七月五日夕神戸市役所前で尼崎の益田茂君から次の走者、神戸の福本勝君と泉谷豊君にバトンタッチされた。

六月八日日本橋をスタートした赤トンボ号は東海道を西下、神戸からカーフェリーで那覇港に向かう。この日宮崎神戸市長から平良那覇市長あてのメッセージが託され、市長やクイーン神戸も中突堤まで一緒に走

誕生日 ありがとう



★ボランティア大募集!

「誕生日ありがとう運動」は、神戸を拠点に全国に広がった精神薄弱児問題啓蒙運動です。今年五月で八周年を迎えました。育ててくださった神戸の皆さんに感謝いたします。今なお、ますます広がっておりますこの運動に、スタッフとして働くボランティア（自発的奉仕者）仲間を募ります。
・すくすくは、いっぴいあります。あなたの生活の中で、あいている時間を少しまわしてください。
・入会退会に条件はありません。自由です。
・今動いている仲間は会社員、OL、学生、主婦、教師、種々様々ごく一般人たちです。
・金銭的報酬はいっさいありません。

・何かをしたい人、生きがいを求め暗中模索の人、自分の時間を有意義に使いたい人、仲間が欲しい人……そんなあなた、仲間になってください。

★誕生日ありがとう運動とは

誕生日のお祝いの中から意識的に百円節約し、献金する。各家庭で、この問題について話し合う機会をもつ。このことを手がかりとして、わたしたちすべてが精神薄弱児（者）をあたたかく包む雰囲気を広げると同時に、ひとりひとりのかけがえのない生命について思いをめぐらせ、年に一度の誕生日を有意義にしよう、という運動です。

誕生日ありがとう運動本部

神戸市井合区御幸通八の九の一
神戸国際会館一階（郵便局の前）
（二五）八一六一内線316

った。



メッセージを手渡される福本君

★バスの外装をオレンジ色にしよじやないか！

神戸市の公共物のデザインをもっと楽しく秩序あるものにしよとこの目的で、このほどデザイナーの大野巳喜男さんから九名が新たなデザイングループを結成した。その経緯を大野さんとメンバーの辻利明さんにかけてみた。

「グループをつくったのは行政への発言力を強くするためです。公共物の現状をみると、配色一つにしても行きたりばつたりでやっているとしか思えないう。無秩序も甚だしいですね。ユニークなまちづくりを目指して、市民サイドから行政へどんどんと提言していかないといけないですね。その基本となるのは秩序と多様性です」神戸まつりでも毎年独創性あるイベントをみせる大野さんだが、これからはデザイナーの立場から都市環境の問題に大いに取り組むという。バスの

外装を速くからでも目立つオレンジ色に、橋の色も統一しようなどユニークな構想がいっぱいである。

★レイキシーのO・D・H・Wのレコードが発売

一九五〇年代、六〇年代神戸を中心に活躍、ジャズマニアにはその名も知られたレイキシーランド・ジャズ・バンドO・D・H・W（オリジナル・レイキシーランド・ハートウォーマー）のすべてが発売されたレコードが発売されている。

O・D・H・Wはもともと大学のスイング・バンドのピックアップ・メンバーから成るアマチュア・バンドだが、演奏者のハートのこもったレイキシーランド・ブレイでは当時から定評があった。

メンバーはドラム／加藤竜吉、トロンボーン／大越泰蔵、ベース／鈴木敏夫、コルネット&サククス／平生舜一、クラリネット／辻妙珠、バンジョー&ギター／山川皓一郎、トランペット／右近雅夫ほか。メンバーの交代や多忙な生活のため演奏活動は休止状態だったが、レコード制作を機に再び活動が始まりそうである。

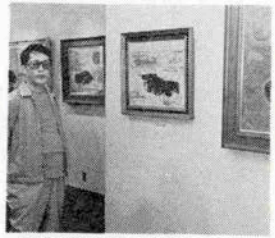
収録されているのは五三年から七〇年までの録音で

「ブルース・マイ・ノーティ・スイーティ・ギブス・トゥー・ミー」「ジョーシア・キャン・アンド・パイ」など十五曲。

★孤かな動物たち

兵庫県文化賞受賞記念の貝原六一さんの個展が七日から八日まで、元町三丁目のアカデミー画廊で開かれた。

「孤かな動物たち」と題するこの個展には、三十点余の力作が出品され、牛や馬のデフォルメされたユニークな油絵は見る人を魅せる迫力を持っている。



動物の孤独は人間自身のもの……

テーマについて、貝原さんは「人間とかかわりのある動物の孤独を描くことで人間自身の孤独を表わしたんです。人間を描くとしてめっぽくなるので、動物におきかえてネ」と説明された。

戦争体験を持つ貝原さんは、孤独の深い淵を、絵で表現している。

美術

ガイド



- ★兵庫県立近代美術館
- 兵庫県立近代美術館名品展
- 73県展(公募) 8/8 4/8
- ★白鶴美術館 休館 8/8 8/8
- ★南宮美術館
- ★大丸百貨店五階美術画廊
- 山田無文同館展示 8/8
- 清和会日本画廊 8/8 2/8 8/8
- 甲斐会日本画廊 8/8 16/8 8/8
- 瀧翠陶芸作品展 8/8 8/8
- ★そころ百貨店六階画廊 8/23 8/31
- 日本画洋画期末奉仕展
- 藤田樹二版画展 8/8 10/3 8/8
- 寺田熊左右野製展 8/8 17/8 8/22
- ★第二回漆芸ホルネ展 8/25 8/29
- ★KKCCギャラリー
- 濱口忠雄写真展「えすえすの詩」 7/31 8/6
- KCC教室作品展
- 甲南大学菊芸展 8/8 27/8 9/8
- ★さんちか広場
- ★七回さんちか古書展
- 第五回素人縁台園藝将棋大会 8/2 8/8
- 第十二回ロバの絵画展 8/15 8/8
- 第五回国民芸術世界の展 8/8 23/8
- ★さんちかギャラリー 第二回新協六人展 8/28 8/20 8/14 8/7
- 墨と油の作品展
- 三枝写真展 8/8 23/8 9/2 8/8
- ★松元夫個展
- ★三宅ホームコーナーギャラリー
- 吉田実真展 8/8 9/8 8/8
- 山本写真展 8/8 9/8 8/8
- 谷写真展 8/8 9/8 8/8
- ★高寺書道展
- ★安田画廊 「みず・ろみ」伊勢田直美個展 8/8 8/8 8/8
- 29/8 21/8 22/8 21/8
- ★新光ギャラリー
- ☆色研研土器を中心としたマヤ土器、土偶「ブレ・ロコンシア」 8/1 8/8 8/31 2/612

★神戸薪能八月一日から

今夏の神戸薪能のプログラムが決まった。八月一日、二日長田神社境内、八月二十五日須磨離宮公園、いずれも六時三十分開始。

出しものは

八月一日 長田神社

能楽・鶴亀、杜若、石橋

狂言・附子

八月二日 長田神社

能楽・橋弁慶、胡湖

石橋

狂言・蝸虫

八月二十五日 須磨離宮公園

能楽・羽衣

狂言・伯母ヶ酒

解説・畔柳盈雄

神戸薪能協会主催、別に

姫路城公園での企画もある。

る。

★六甲に素敵なブティック

阪急六甲から数分、店主のセンスの良さが感じられるブティックMELL。神戸生まれのデザイナー浦野敏彦さんが御主人。パリで

P・カルダンに弟子入り修業した経歴を持つ二十一歳の青年だが、カルダンのように巾広くトータルなデザインを手がけるのが夢と語る。秋にはオリジナルなニットを製作販売する予定。

オートクチュール・プレタポルテMELLはTEL・

八四一―四八五八。

★北欧からの格調高い毛皮

シヨール

一五〇年の歴史と伝統を誇る北欧のA・C・BAN

師によるレベルの高い充実した福祉講座であり、参加した受講生たちは猛暑の中を熱心にメモをと

り、耳を傾けていた。

最近こうした福祉講座やボランテニアの研究会

カウンセリングの研究生

がかなり増えてきている

ように思う。これも福祉

社会志向型の一つの現象

かもしれないが、近年の

目にあまる日本の環境破

壊、PCB汚染をはじめ

とする種々の公害、住宅

難や物価高による生活の

圧迫、イライラなど近年

G社の華麗な毛皮ファッション・シヨールが六月のある日オリエンタルホテルで開かれた。夢のサガミンク、

幻のフィンジャガー。最高

はロシヤンセーブルの千三

百万、お手頃は十八万から

五十万円。北欧からのモデ

ルや日本のトップモデルの

優雅な身のこなし、司会の

黒沢良さんの渋い声や岸洋

子さんのすばらしい歌とも

相まって、うっとりするほ

ど豪華な一刻であった。

のゆがんだ都市文明の中

で、もう一度人間を見つ

め、考えなおしていこう

とする人達が増えてきた

からのようにも思う。

社会の中の弱い立場に

ある人達はもちろんのこと、私達の一人ひとり

人間として生活のできる社会が本当の福祉社会のはずである。神戸がより住みやすい街となるためには、神戸の街がまず人間を大切にすることを

ことが根本であろう。

(H)

花時計



★人間を大切にした街を

七月は兵庫県社会福祉協議会が主催する「第13回社会福祉夏季大会」が宝塚市民会館で開かれ、また海員会館では誕生日ありがとう運動の主催による「第一回市民の福祉講座」が開かれた。

どちらにも日本の一流講

KOBE POST

★青女の主幹伊丹三樹彦さんよりKCC(新聞会館9F文化センター)の現代俳句教室を、八月より毎月二回(二カ月二、〇〇〇円初

心者対象一回につき三句添削)第一

・第三金曜午前十時より十二時

第一回は、八月三日よりとなっております。お問合せは〇七八一二二

一―八五八〇吉岡靖子迄

★朝日新聞の元神戸支局長重森守

さんは、通信部長から記事審査部

長へと七月五日付で変られました

。自宅は、尼崎市南武庫の荘一

ノ二九〇ゴゴ武庫之荘二〇七

TEL四二二二一九三二

★シャントンの堀郁子さんは、七

月一日より、籠池通りから、日暮

れ通りに移転されました。新住所

は、神戸市葺合区日暮通六丁目五

ノ十七

TEL〇七八(三二二)一八七

五です。

★女流カメラマンのの瀬元子さ

ん(西宮市甲東園口二ノ二十七ノ

八)は、七月十七日(二十一日銀

座ニコンサロンで、女の話し業綜

空華。のタイムルで一の瀬元子写

真展を開かれました。

★画家津高和さんの随作。わす

れもの、展が、大阪のギャラリ

・今井、で七月十六日(二十一日

まで開かれました。

★竹田洋太郎さんのニューヨーク

での新居は左記の通りです。

Yoroto Takeda

5601 Boulevard East

West New York,

New Jersey

Appt. 24-H 07983

★日本専売公社の金口所長はこの

ほど横浜へ栄転されました。今後

の御活躍をお祈りします。



豪華な毛皮コート

● お酒の殿堂



アサヒビール特約代理店

酒類調味食品問屋

乾 神戸酒類販売株式会社

本店・生田区中山手通1丁目76

TEL (078) 321-0201(代表)

支店・西宮・垂水・兵庫

元祖 焼酎

おいしさが
口いっぱい
ひろがる……

本場の味



ばた
なち

■三宮センター街柳筋店
TEL 321-3446・331-0572

■新開地店
TEL 576-1191

■平野店(平野市場内)
TEL 361-0821

■三宮センター街サンブラザビルB₁
TEL 391-3793

半又鮎



神戸三宮生田ノ社ノ西 電話(331)0935

おすし
てんぷら



榮 彌



本店 大丸前・三宮神社東
TEL(331)5772
567314
(毎週水曜日休み)

支店 さんちか味ののれん街
TEL(391)5233
(第3水曜日休み)

営業時間
A.M.11.30~P.M.9.00

SUMMER KOBE SHOPPING

やっぱりうまい
むさしのとんかつ

とんかつ

三宮
ムサシ

でんわ・
321 321 331 | 三三七七一
| 〇六三四
〇六三五

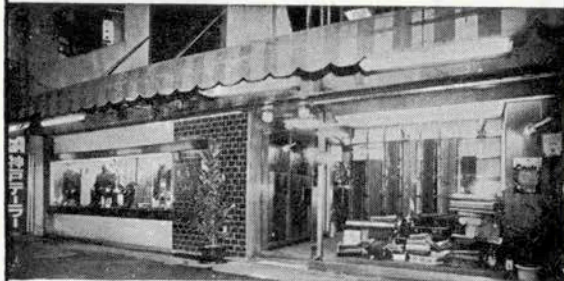


ハイセンスの紳士服で最高のおしゃれを!

三惠洋服店

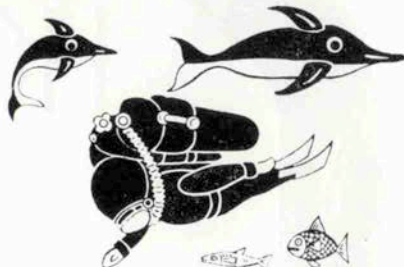
元町4丁目 TEL(341)7290

高級紳士服専門店
神戸テーラー



さんちかメンズタウン TEL(391)0388
生田区北長狹通2(阪急西口)TEL(331)2817・3173

夏の太陽のもと子供たちは強く育ちます
カメヤには水遊びのおもちゃがいっぱい



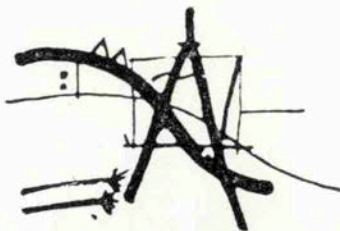
おもちゃの **カメヤ**



三宮方面でのお買物は……
さんちか店 ファミリータウン 391-4045
三宮店 センター街 (改装のため休業中)
元町方面でのお買物は……
元町店 元町通3丁目山側 331-0090
パンブウ店 元町通1丁目不二駅前 391-0768

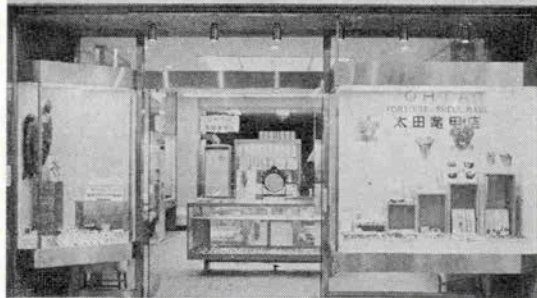
SUMMER KOBE SHOPPING

額縁絵画・洋画材料
室内工芸品



末積製額 三宮・大丸北
トア・ロード 331 1309・6243

太田鼈甲店



べっ甲美術品とアクセサリーの専門店

太田鼈甲店

元町1丁目 TEL(331)6195

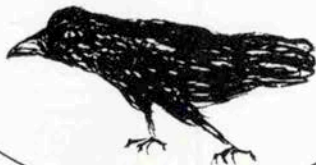
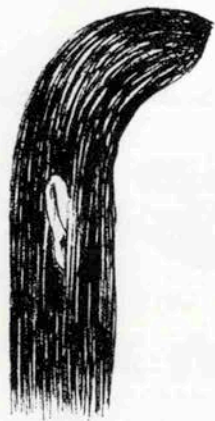
ショート・ショート

HONEY

〈前編〉

下大路 由佳

え・佐藤 英夫



夾竹桃の、官能に充ちた桃色の花房の間から、林立する白いビルの群と、そしてその向うに広がる神戸の海が見える。今日の最後の太陽が、海を赤い残照で輝らし、海は巨大な一匹の魚の背の、鱗のように思えた。勇壮に臨終を迎えようとして沖へ向う、老魚の背の鱗のように、最後の太陽は海を、不吉な朱で染めている。南から、風が崖の上のテラスに吹いて来る。一日中、南風が街を駆け抜けているのだった。今、盛りを迎えようとする夏が、微かな海の匂いと共に暖かい南風の中にその到来を予告させた時以来、一日中街には海の匂いがしていた。そこは、神戸の海と街並みを見下ろす、崖上の白いアパートメントだった。

レイコは、石だたみになった急勾配の細い坂道の中腹に、木蓮の高い木立ちがついこの間まで、大きく白い、肉の厚い花弁を、夜の宙空に、冥府と現実世界の境界に咲く花のような、一種の宗教性をたたえて浮かび上がらせていたのを思い出す。木蓮の高い木立ちは、ほとんど緑色のベンキが剥げ落ち、坂の、勾配の下方に向かって家そのものが傾きはじめて、古い洋館の、二階の屋根まで届いている。開け放された錠戸の中に人影は見えず、ただ電灯だけが灯された。しばらくすると、ギターが弾られるだろう。レイコは、彼女が現在たたずむアパートメントに暮っていた三年の間、一度も古い洋館の住人を見た記憶がなかった。夕方になると、錠戸の中に電灯が灯り、そしてギターが弾られ、時々、低い男の歌声が聞えることもあった。しかしその歌の詩は、彼女のテラスまで明確に届くことはなく、時としてそれは、中近東のモスクの屋根から発せられる、長く哀しい尾を曳く歌声のようにも思えた。いずれにしろ、彼女は古い洋館の住人を知らなかつたし、洋館には表札はなかつた。いや、ひょっとすると、レイコは三年の間

に、その家の住人を見たのかもしれない。ただ彼女がそれを忘れてしまったかもしれない。彼女が持つ余りにも多くの顔達、別離という名で彼女の裡に棲みつき、そしてその別離のもつ半ばの永久性のために肉体を失い、ただの標識としての墓標のように、彼女の裡に在る顔達。夥しい男の顔——。そうだが、娼婦だったわ、そして……、そこへ戻るだろう……また。彼女は思った。

「ヴァーノン、陽が沈んだわ」

彼の返事は返って来ない。彼女は、夕暮が徐々に、やさしい休息で包みはじめている彼等の寢室を振返った。ヴァーノンは、海に向いた部屋のほぼ中心、ベッドの傍らのソファから、彼女を視凝めていた。金色の腿の下から、彼女を見上げている彼の、紫に近い青い眼は悲し気で、その透き通った悲しみの色は彼女に、彼に対する激しい謝罪を覚えさせ、それ以上彼を眺めつづけることを耐えられなくさせた。彼女はまた、彼に背を向けて海の方へ向き直った。それから低い声で言った。

「陽が沈んだわ……。死んだわ……。今日が」

そうだ、今日が死んだわ。そして今、太陽に染められた赤い雲がち切れ、淡い水色から紫色へと移行して行く美しい空のこの七月もやがて死ぬだろう。彼女が死を意識しはじめた瞬間、それはそこかしこに、例えば、七月の夕べの屋外を横切つて行く猫の鳴き声、追つて来る闇の中に融合することを頑なに拒んでいる、現在は螢光色を帯びたように見える夾竹桃の桃色、彼女の見知らないギターの弾き手、その旋律、そして彼女の愛している一つの顔の上に、死は姿を現わすのだ。なぜなら、世界そのものが過ぎてゆく一瞬々々の中に死んでいたら。レイコは、自分が又しても束の間、死と戯れていたことを認めた。死を強く彼女の認識の中に甦らせ、そのことで彼女は、自分自身の生を、自分に向かって認識させようとしてるように見えた。あたしは生きてるわ、それ死を認識出来るという事実によって。

「Honey」

ヴァーノンが彼女を呼んだ。彼が彼女に呼びかける時好んで使う「Honey」という響きに、レイコは常に、彼のすべての愛情を、やさしさを感じた。彼女は彼に微笑してみせた。

「Honey, My honey bunch」

だが、彼が言葉にする前に、彼女は既に彼が言おうとしていることを知っていた。だから彼女は微笑しながら努力して快活に言ったのだ。

「ヴァーノン、あなたいつか言ったわね。本当？ カリフォルニアでは、太陽は山から昇るの？」

ヴァーノンは、一時、眼を閉じた。彼の臉は淡い董色をしている。彼が疲労する時、決まって現われる淡い董色を彼女は愛した。そして、抑制し難い、奔流のような愛しみが、ほとんど気狂いじみたやり方で彼の臉に自分の唇を何度も押し当てさせた多くの夜を、レイコは思い出していた。

「カリフォルニアでは、太陽は山から昇る……。だから僕は、それを君と見ようと言っているんだ。僕達のテイムの中の日本での仕事は終わった。何度も言ったけれど、当分僕にはover seaはないだろう。彼等がこの次、僕をどこに送るか僕は知らない。とに角、日本へはおそらく僕はもう二度と来ることはないと思う。君は、どうして僕とカリフォルニアへ……」

レイコは静かに首を振って彼を遮った。そして彼に近づき、傍らに腰を下ろすと、彼の首に両手を巻き、紫がかつた青い彼の眼の中を覗き込んだ。それから、ゆつくり言った。

「Darling、あたしは、あなたにはなれないわ。傲慢に聞いたら許してちょうだい。でもそれはあたしが世界だからよ。この世界そのものだからよ。ヴァーノンあたしは死なの」

彼女はヴァーノンの首に廻した手に力を籠め、彼の肩に自分の頭を乗せた。

「でも……、愛しているわ、あなたを、とても」

彼は、彼女の肩に手を置くとそれを抱きしめた。レイコは、彼女自身を世界そのもの、死だと言う。ヴァーノンには彼女の裡に在る空しさを理解していた。理解したからこそ、彼はこの娼婦をしていた女と、三年間を共に生活したのだ。生の空しさを垣間見た人間を、その底なしの暗い穴から引戻す力が、自分には無いのだと彼は思った。そして彼は自分を恐ろしく無能に、黄泉の戸口に立つてユリーデイスを呼びつづける、敗北したオルフェウスのように感じた。自らを死と呼ぶこと、一つの空しさそのものに自分を化そうとする彼女。多分彼女は、彼女のような人間が自らを生きつづけさせる唯一の手段として、それを選んだのだ。ヴァーノンは、テラスの細い支柱越しに見える、水平線がもう定かではなくなり、空の紫色に溶け入り、そして点滅するイルミネーションからこぼれ落ちた、幾つかの光の滴のような船の灯が揺れている海の流れに、眼をやった。彼は、レイコのいく分しわがれた低い声を、彼の記憶の中で探っていた。

「Yes, I have just separated from a man. He will never be back again. So, that means a death itself. (ええ、あたしはある男と別れたばかりよ。彼は二度と帰って来ないわ、そう、それは一つの死そのものを意味している。)」

その夏の夜明け、突堤では、停泊中の貨物船が原色の国旗を、霧の中にくったりうなだれ、灰色の船体をひっそり波間に浮かべていた。すべてが最後の眼りを貪欲に貪っている時間、朝の間近かというよりは、夜の静寂と眼りの孤独を、夜の只中に居る時よりもむしろずっと強く感じさせるそれは、真夏の午前四時の港だった。ヴァーノンは、人気がない街を凄くスピードで車を飛ばし、そして港の突堤の先端に車を止めたのだった。運転席のシートでハンドルを握りながら、彼は故郷のロスの、ハイウェイを夢見ていた。何マイルも、ただひたすら白いハイウェイだけが彼の前方に延々と横たわり、ロス郊外一時間以上も人影も車も見えない、ハイウェイの白さ。

皮肉なことに彼が世界の多くの土地で売り込むコンピュータが、彼の能力を冷酷に弾じき算定し、決定づけてしまふ日々の連なり、コンピュータにファイナルされた夥しい書類の一枚となりつづけることが、彼の地位を保ち、それ等の書類から外される日、ノルマ未達成によってお払箱になる——日々の連なりが時にヴァーノンにもたらず、叫び出したいという発作を、ロスのハイウェイの白さの中に埋没させ、何マイルも彼は車を走らせつづけたのだった。しかし、ロスのハイウェイの白さが、彼に瞬間、奇妙な郷愁を覚えさせた。だが、と彼は思った。エトランゼとして、この見知らぬ土地、彼にとって「KOBÉ」という街の名さえもが、未知の、新鮮なエキゾチズムをたたえた土地に在る彼の存在が、現実を越え、現実を變形させ、遂には抽象物そのものとして美化された故郷ロスを、彼の内部に構築しているのだ、と。故郷に自らを定着させようとすれば、彼はきりもないお互いの酷似しすぎた日々の連鎖を嫌悪し、そしてそれ等の日々の背景としての街を嫌悪し、土地そのものを嫌悪するだろう。初めて降り立つ海外の街々で、彼を最初に見舞う激しい不安が、彼の全神経を極度に張りつめさせ緊張の頂点へ彼を押し上げる、身震いするような戦慄を、彼は愛した。だからこそ、彼は土地から土地をめまぐるしく移りつづけたのだ。海外派遣が終る日、彼は社を去り、新しい別の職場を、ステイツの多くのビジネスマンがそうであるように求めるだろう。しかし多くの他人達がそうであるように、より高いサラリーの為にではなく、身震いするあの不安と戦慄の為に。ヴァーノンは岸壁に打ち寄せる、小さく穏やかな、空の色を反映した灰色の波に眼を落した。海ほど不可解なものはない。海は彼にとって、観念、それ自体のように思えた。果てしもなく打ち寄せ、果てしもなく引いて行き、そして尽きることはない、その捕え難さ。余りにも巨大でありながら、余りにも希薄な海の実在感。彼は、自分が海を追いかけて追いつけるだろうことを、生涯を賭けてそれを追い

☆新しい関西を創造する総合雑誌

オール関西

〈8月号予告〉

- ☆グラビア 「女の四季」 宇津宮雅代
" 「万葉記」⑤ 犬養 孝
" 「And His Ladies」 奈良本辰也
" 「京阪神三市長中国訪問レポート」
" 「私の散歩道」

西村大治郎、上田安子、古林喜楽

- ☆特集 地方自治体一環境と福祉一
" 京阪神味覚ガイド
" 祇園商店街とアーケード完成 一新しい京都一

☆連載対談② 茂山千作、北岸佑吉

☆商売の最前線 「にしむら珈琲店」

☆激動のアラブを行く⑨

エジプト(下) 林 辰比古

☆「織田作之助伝」⑱ 大谷晃一

☆「播州歴史散歩」⑥ 赤穂 黒部亨

☆「競馬酔狂伝」⑥ 新橋遊吉

☆この人 この時 きだ・たろう他

月刊オール関西編集部

大阪市北区梅ヶ枝80梅新東ビル7F

TEL 06-364-2434~7 (代)

得るだろうことを確信していた。だが彼は、自分の確信がどこから来るのかを詮索してみようとはしなかった。海を、希薄な実在感を追い求めつづけることの可能性と確信が、正しく彼の持つ男性、から来るのだらうということとを彼は考えてみようとはしなかった。

ヴァーノンが車に戻りかけた時、彼の紫がかかった青い眼の中に、レイコは居たのだ。彼女は、突堤の倉庫の、厚い金属の扉にもたれ、海の側に向いて立っていた。辺りを包んでいる白い霧よりも、さらに白く乾いて、薄明の中に、一切の感情の陰影を欠いた顔の上の、東洋人特有の切れ長の眼が、彼を映しているのか、それとも彼の後方の海か、あるいは海と同じ色をした、太陽の気配をいっぱい支えながらまだ光の射さない空を向いているのか、彼には分らなかつた。恐らく、昨夜以来直されていらないらしい口紅のローズ色が、彼女の表情をよけい荒廃させてみせた。ヴァーノンは彼女の方へ進んで行き、言ってしまったから何故そう尋ねたのかを自問しながら彼女に言葉をかけている自分を見出したのだ。

「Did you send some one off? (誰かを送ったかのですか)」

一瞬、彼女は黒い切れ長の眼を大きく彼に向かって見

開き、そして少ししわがれた低い声でいった。

「Yes, I have just separated from a man. He will never be back again. So, that means a death itself.」

ハンブルグで、サンフランシスコで、マニラで、シドニーで、ヴァーノンは彼が駐在した土地土地で、多くの種の女達を知っていた。しかし神戸で彼が初めて見たその娼婦の言葉は、彼の心の中に何か重く沈んで行くもの、錨のように重く沈んで行くものを与えたのだった。

「愛していたのですか? とでも」

ヴァーノンは彼女に聞かずにいられた。何故なら、彼女の眉の間に寄せられた深い翳りが、彼女を娼婦だと思っただけの直感が間違いでなかつたのかと、彼を戸惑わせたほど、苦痛に似ていたからだった。

「多分そうかもしれないし、そうじゃなかつたかもしれない。でも終ったわ。死んだわ。あの男は死んだのと同じよ。そして彼にとってあたしも、死と同じなんだわ」

それから彼女の黒い眼は、不安定に宇宙をさまよい、怯えたように、彼に向かってまた大きく見開かれた。

「どこかへ、連れて行ってちょうだい。そしてあたしを暖めて。重いわ、重くて耐えられないわ……死は。あたしを、あたしを暖めてちょうだい、お願いだから」(づづく)

曲線ハイウェイ

武田 繁 太郎
え・横 塚 繁

象の話から、S氏の動物談議は、尽きることがなく、動物たちのセックスの話にまでおよんだ。

何十年も動物ひと筋に生きてきたS氏は、そのながい

〔あらすじ〕 東名高速サービスエリアで多木洋介は神戸の女性宇津康子と知合い、逢瀬を重ねるうちに康子にひかれていった。ある日友人岡本和彦と共に神戸へきた多木は康子に会えず、彼女の面影に似た辰野英子を紹介され、六甲山へドライブに出かけた。ロマンティックな情景に誘われて英子を抱きしめた多木の胸に、初めて感じるいとおしさがつり、その夜二人は愛しあって別れた。

そんな時突如として康子から電話があり、多木と康子は二人の愛を確かめあった。翌朝、風のように去っていった康子を追いつ神戸にきた宮の多木は、岡本の早呑み込みと神戸の雰囲気の中で英子を探している自分に気付いた。英子をついつた多木は淡路島へのドライブに出かけたが、その帰りに中年の男と寄りそって歩いている康子を目撃した。その衝撃を負って帰京した多木のもとに康子からの屈託のない電話が入った。十日間の休暇をえた多木は、北海道へのドライブに康子と出かけ、札幌から海岸沿いの国道を通り、さいはての村島牧に向った。その村は、難病にかかった象の花子が温泉で闘病していることで、かつて新聞に報道されたことがあった。

宮内温泉についた二人は、花子を見舞い、花子の世話をしているS氏と親しくなった。翌日二人は村内の見物に出かけ、S氏に教えられたジャスパーのある浜に遊んだ。その夜、二人はS氏を招いて夕食を共にし、花子の話に耳を傾けた。

経験から、おどろくほど多くの動物たち、小は昆虫や小鳥、大は牛や馬や熊など、さまざまな交尾の姿を観察していた。

「だけど、総じて言えることは、どんな動物も、いっしょうけんめいに愛しあっていますね。身体を張り、生命を賭けて、セックスを営んでいますね。クモの交尾なども、すさまじいほどですよ」

クモは、メスが大きく、オスが小さい。しかも、メス

のほうが獐猛で、交尾をすまずと、とたんに、オスを食い殺そうとする。オスから子ダネをとってしまえば、もう用済みだというのだろう。

「むろん、そこは、オスのほうもよく心得ていますよ。うかつにはちかよらない。果をはっているメスのそばへすーッと糸を垂らしながらおりてきて、ぶらぶら糸をふりながら、メスの様子をうかがっている。そして、チャンスだとみると、目にもとまらぬ早さで、メスにひどみかかり、思いを吐けると、そのまま、さつと遁れていく。まるで武蔵と小次郎の対決のような、一瞬の真剣勝負なんです。食うか食われるか、決死の愛の営みなんですな」

クモのオスにとっては、それほど危険をおかしてまで、なおメスを愛さずにはいられないところに、彼らの愛の姿があったというのだろう。

「セックスとは、もともと、それほどきびしいものであったはずなんです。すべての生物にとって、種族保存ということが、自然から与えられた絶対的な要請でしょう。だから、種族を保存するための生殖行為が、生物の日常の生活の中で、もつともたいせつな、もつとも厳粛な行為であることは、当然なんです。ところが、どうですか。人間は。とくに、ちかごろの人間のセックスは」

S氏は、歎かわしそうに言った。

「自然というものは、生物にきびしい反面、非常にやさしいところがあるんです。セックスが、ただ味気ないもの、忍耐だけを要するもの、苦痛を伴うものだとすれば、生物にそういうセックスを營々といたなめと命ずるのはかわいそうだ。また、セックスがそんなものなら、生物は厭がって、みんなやめてしまうだろう。そうすれば、生物は亡びてしまう。それじゃいかと、これは、自然の偉大な知恵なのかも知れませんが、自然は、セックスにこの世で最上の快楽と、美しい愛を与えてくれた。自然は、じつに慈悲ぶかくできていますよ」

S氏は、康子の酌をうけながら言った。

「ところが、人間は、この自然の恵みにたいして、恩を仇でかえすような真似をしている。人間は、ごさかしい知恵を身につけたために、セックスに与えられている愛と快楽を摘みとって、それだけを貪欲にむさぼっている。これは、自然にたいする許しがたい反逆ですよ。わたし、男と女のプラトニック・ラブというものも認めません。プラトニックという、なんとなく文学的で、ロマンティックで、美しくみえるかも知れませんが、セックスをぬきにした愛など、やはり、自然の摂理に反するものです。愛があれば、それは、当然男女の肉体的な結合にまですすまねば、自然な姿ではない。愛とは、愛することそれ自身が、究極の目的ではないからなんです」

「とすると、おなじように、セックスの快楽も、快楽それ自身が目的ではないわけなんですな？」

「そうですね。いま、フリーセックスだのボルノだのという言葉がはやってますね。だけど、人間が、快楽だけを享楽するためにセックスをおこなうことも、自然に反した行為ですよ。人間以外の動物をみてごらん下さい。みんな、自然の命じるまま、素直に、せいっぱいセックスを営んでいます。こういう話は、ご婦人のまえでは、失礼かも知れませんが、まあ、きいてください」

S氏は、手にしていた盃を、膳のうえにおきながら言った。

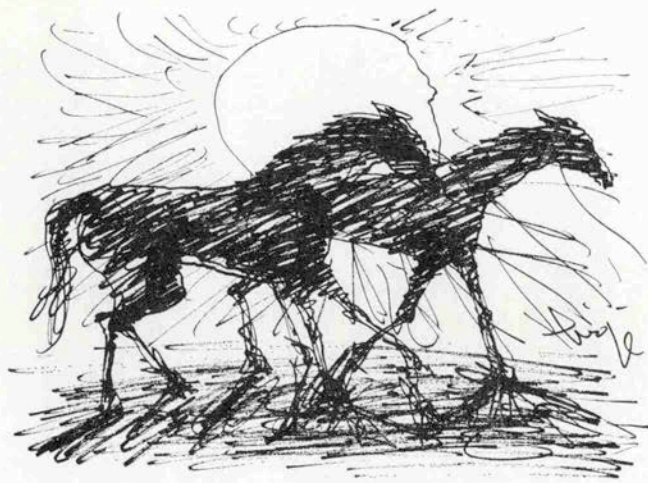
「牛でも馬でも、あるいは鶏なんかでも、彼らの交尾は、あつというまに、おわってしまうといいますね」

多木は、黙ってうなづいた。

「たしかに、交尾そのものは早いですよ。さっきのクモなんかでも、そうですね。しかしね、交尾するまでの、人間でいえばいわゆる前戯にあたる行為、たとえば馬など、じつにほほえましいというか、あいらしいというか、馬にくらべれば、ボルノ小説などに描かれている人間の前戯は、いやらしいかぎりですよ。無理もない。こ

ういう小説では、ただセックスの快楽だけを、あくどく描こうとしているからですよ」

S氏は、目をほそめるようにして、言葉をついだ。「馬の場合もね、オス馬のほうが、メス馬にちかよっていく。メスはじつと立って、オスのくるのを待ちかまえている。オスは、あの長い顔で、メスの顔に頬ずりし、鼻の先きをふれあって、愛撫する。人間が愛をささやいている姿と、そっくりなんです。メス馬も、オスの愛撫にこたえかえしている。すると、オスは、メスのお尻のほうにまわるべく、メスのわきをとおっていく。そのとき、オスは、メスの身体に自分の肌を、そっとすりつけるようにしていくんですが、それが、じつに微妙な愛撫の表現なんです。動物ながらに、セクシーなんです。動物でも、こんなにすてきな愛のテクニクを心得



ていたのかと、おどろかされますよ。これが、馬の前戯であり、愛の交換なんです。動物だって、ただ本能のままに交尾しているんじゃない。人間に負けぬほど、いや、いまだきの性の快楽だけをおつかけている人間などとは比較にならぬほど、愛の欲びというものを知っているんですよ」

「なんだか、人間であるほくたちのほうが、赤面したくなるような話ですね」

「そうかも知れませんが。現代のセックスは、墮落した、退廃したと、よくいわれていますね。もしもそうなら、人間は、もつと動物のセックスを見ならつたほうがいいでしょう。わたしは、象の花子の身体がよくなつたら、生れ故郷のタイへかえしてやりたいとお話しましたね」

「ええ。タイから迎えの船がくるとか」

「そうなんです。わたしが花子をタイにかえしてやりたいのは、ひとつには、花子はもう十一歳、すっかり娘ざかりになっているからなんです。一日も早く、恋人をみつめてやりたい。だけど、この日本ではむづかしい。ですから、故郷のタイのジャングルにかえして、彼女自身に、すてきな恋人をみつかせてやりたいんです。花子はきつと意中の人、いや、意中の象にめぐりあい、恋愛をし、子供を産んでくれるでしょう。そういう姿が、自然がわれわれ動物に与えてくれた、ほんとうの姿なんです。いま、わたしがどれほど花子をかかわいがってやっても、花子にとっては、動物としてけっして幸福ではないんです」

「人間は、どれほどかわいくても、動物を自然にかえしてやるべきなんですかね？」

「そうですね。ちかごろは、ペットブームで、人間はやつらといろんな動物を飼っていますね。人間の子供を過保護にしたように、犬や猫も、猫かわいがりにして、やれドッグフードだなんだと、やつらにふとらせて喜んでいますね。それで、けっこう動物をかかわいがっているつもりでいます。だけど、人間は、いちばんたいせつなこ

〈神戸の催し物 8月ご案内〉

＜音楽＞

- ★あなたと私の音楽会——アマチュア・フォーク・コンサート
8月4日(土)開場PM2:30 開演PM3:00 神戸海員
会館 ¥400 主催/Kobe Music Friends
ゲスト/火の鳥
- ★フォーリブスショー
8月15日(水) ①AM11:00~PM1:00 ②PM2:30~4
:30神戸国際会館 A ¥2,500 B ¥1,500
- ★メル・テラーとザ・ダイナミックス
8月16日(木) PM7:00~9:00 神戸国際会館 S ¥
1,900 A ¥1,500 B ¥1,200 C ¥1,000ラプシート2名 ¥
3,200 (全館指定席) 曲目/ワイルドで行こう、ハートに
火をつけて、ワイプ・アウト、キャラバンその他新曲多数
- ★大フィル・京響ダイナミックコンサート
8月17日(金) PM7:00~9:00 神戸国際会館 民音
会員制 ¥1,200
- ★明治マンドリンクラブ演奏会
8月18日(土) PM1:00~4:00 神戸国際会館 ¥500
明治大学校友会兵庫支部主催
- ★ニッティ・グリティ・ダート・バンド
8月18日(土) PM7:00~9:00 神戸国際会館
S ¥2,500 A ¥2,000 B ¥1,500
- ★朱里エイク オン・ステージ
8月19日(日) PM6:00~8:00 神戸国際会館 民音
会員制 ¥1,000
- ★神戸市教職員文化祭「坂本九」
8月24日(金) ①PM2:00~4:00 ②PM5:30~7:30
25日(土) ①PM12:00~PM2:00 ②PM3:00~5:
00 ③PM6:00~8:00 神戸国際会館 会員券 神戸市主催
- ★チェリッシュとアリス
8月27日(日)
PM6:30~9:00
神戸国際会館 労音
会員券
- ★高石ともやとザ・ナ
ターシャー・セブン
8月29日(水) PM
6:30~9:00 神戸
国際会館 S ¥1,300
A ¥1,000 B ¥700 (当日券は200円高くなります)
- ★ローリング・ストーンズ・フィルムコンサート
8月30日(木) 神戸国際会館 無料 ラジオ関西主催
- ＜演劇＞
- ★突殺仕掛人——新四谷怪談(第一部)バラエティショウー涼
風(第二部)
8月1日(水)~10日(金) ①AM11:30~ ②PM2:30
~ 神戸国際会館 S ¥1,400 A ¥900 自由席 ¥500
出演/東 千代之介、花紀 京、伊吹友木子、西尾三枝子、
早崎文司、若井はんじ、若井けんじ、他
- ★人形劇ピッカリ座公演
8月1日(水) ①AM12:00~ ②PM3:00~ 芦屋ルナホ
ール ¥300
- ★関西テレビ放送公開録画「ザ・タカラヅカ」
8月8日(水) PM6:30~ 芦屋ルナホール 整理券
- ★民芸公演「修羅と死刑台」
8月21日(火)、22日(水)、23日(木) PM6:15~9:00
神戸国際会館労演会員券 出演/米倉喬年、伊藤孝雄、他



美しいアリス

「発情期になってもメス犬を与えられないオス犬が、幼女の体臭のなかにメスの匂いをかぎとるのです。幼女は、オシッコなどで、どうしても下着類をよこしがちです。その匂いが、オス犬を興奮させ、狂暴にさせ

「よく新聞に、子供が飼い犬に噛まれて怪我をしたという記事がでるでしょう。これから、注意してみてください。噛む犬のほとんどがオスの成犬で、噛まれる子供のほとんどが幼女のはずです」

「どうしてですか」

「ほほオ。どんな復讐ですか」

「忘れてるんです。それはね、犬や猫が発情期になっても、知らん顔をしていることです。そのために、犬や猫がどれほど性的な不満に悩んでいるか、人間はちっとも気づいてやろうとはしないんです。なかには、子供が産れたら処分にこまるからと、断種してしまう人もいますが、これは人間のエゴですよ。人間って、つくづく残酷な動物だと思いますね。だから、ときどき、動物から復讐されるんです。それも、いたくない幼児が、大人の犠牲になってね」

「多木は、S氏の語る動物のセックスの生態から、人間の愛と性の在り方を教えられたように思えるのだった。(つづく)」

「あたりまえのことですね。人間は、犬の言葉が理解できないから、犬がどれほど悲しげに性の不満をうちあけても、耳を傾けてやろうとはしない。そのために、犬はどれほど苦しみ、もだえていることか。あわれでなりません。わたしはね、犬や猫を一匹だけ飼うのは、絶対に反対なんです。すくなくとも夫婦で飼ってやるべきです。それができない人間は、動物を飼う資格がありませんよ。それは、自然の摂理にたいする冒瀆になるといっても過言ではないと思うんです」

「なるほど。飼いはどんなにペット化されても、やはり、動物としての本能まで失っているわけじゃないんですね」

「ただ、これは、犬がわるいんじゃない。犬を欲求不満にしている人間、つまり、飼い主がわるいんですよ」

「なるほど。飼いはどんなにペット化されても、やはり、動物としての本能まで失っているわけじゃないんですね」

